

ベストクラス選定理由書

作成者：二森 正人

科目名称	学習指導と学校図書館		
	(担当教員名： 福原 優子)		
課 程	： 学部	開講時期	： 前期
授業形態	： 講義・演習	授業規模	： 31～80人
インタビュー対象教員名	福原 優子		
	(実施日時：平成30年7月19日 14時40分～16時10分 ; 実施場所：共通講義棟307)		
インタビュー対象受講者名	岡田 咲紀		
	(実施日時：平成30年7月19日 14時40分～16時10分 ; 実施場所：共通講義棟307)		
選定理由	<p>授業者へのインタビューから (授業における工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の主な内容として、講義とブックトークが行われた。五つある司書養成講座の中の一つで、学習指導に重点を置いている授業である。司書教諭をされた経験をいかし、現場の生の声を伝えて、受講生が即戦力になれるようにと願っている。 ・ 毎時間、講義に加えて演習も行われ、ブックトークは少しずつ準備していった。教科に関わる内容を取り上げ、まず福原先生ご自身が実演され、3分で5冊の本をうまくつながるように紹介された。それぞれの本の一番おもしろい部分を紹介し、生徒の学習を深めることを狙いとしている。学生が順に発表していくが、優れた発表を聴くとお互いに刺激を受けて、「もう一度、作り直そう」という声が多く聴かれ、学生同士の学び合いが起きていた。 ・ 取り組みの姿勢が個人で異なるので、グループワークでうまく進まない時は、先生も声かけしていった。また、1・2年生がグループワークの発表をできるよう、同じグループの3・4年生が後押ししていた。異学年で意見を出し合うことで、学生同士の刺激になっていた。 ・ 評価は、テスト、日々の活動(発表)、およびブックトークを主な対象とした。教科書の学習一覧を見て、図書館をどう活用できるかも考えさせた。日々の発表に対しては細かにコメントし、グループワークでは、活動の様子も控えておいた。 <p>受講生へのインタビューから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に活かす図書館の利用の仕方を知ることができた。これまで図書館に馴染みがなかったが、授業を受けて図書館に対する見方が変わった。宝の山である本を、授業で活用できるようにしたい。 ・ 百人一首も、実際に取り組んでみると楽しめるということを知ることができてよかった。 ・ ブックトークでは、和菓子を手がかりに、職人、図鑑、四季、日本の伝統行事の順に紹介し、子どもがもっと読みたくなるように、話の展開を考え、うまく発表できた。 ・ 司書に関する専門的な内容だけでなく、子どもたちとの関わり方も学んだ。例えば、サポートの仕方、日頃から子どもを見ておく、どのように声かけできるかなどが参考になった。 		